

令和7年度 自己評価シート【上目黒住区センター児童館】

1、福祉サービスの基本方針と組織

1－1 理念・基本方針

1－1－(1)

理念、基本方針が明文化（児童館内の文書や広報媒体（パンフレット、ホームページ等））され周知が図られている。

【判断基準】

- (a) 児童館の理念、基本方針が適切に明文化されており、職員、利用者等への周知が図られている。
- (b) 児童館の理念、基本方針が明文化されているが、内容や周知が十分ではない。
- (c) 児童館の理念、基本方針の明文化や職員、利用者等への周知がされていない。

【自己評価】

実践例（取組や記録等）

a)、b)、c)

令和7年4月に改正された目黒区児童館ガイドラインを明文化し、館内掲示により、利用者や地域住民への周知をしています。また、子ども会議や事業実施の際には、子どもたちや利用者に『目黒区こども条例』に基づく権利について、チラシを配布するなどし、わかりやすく周知しています。子ども会議後は、子どもから出た意見を尊重し、児童館運営に反映しています。
児童館ガイドラインや目黒区児童館運営指針に明文化された理念に基づき、利用者の最善の利益を優先できるような対応を心がけた運営をしています。

1－1－(2)

理念、基本方針の確立・周知について

良いと思う点

年間事業計画立案の際、理念や基本方針を反映させた事業計画を行い、事業後の振り返りに生かしています。また、地域の方や利用者、保護者には、懇談会を開催し、児童館の理念や方針を伝えた上で、児童館まつりにも協力していただき、地域との関係を深めています。

改善が必要だと思う点

地域の方や利用者、保護者、初めて児童館を利用される方にも、よりわかりやすく周知するために、職員がよく理解し、館内掲示やパンフレットの見直しを適宜行っていきます。

2、児童館の活動に関する事項

2－1 児童館の理念・目的及び施設特性

2－1－(1)

児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいる。

【判断基準】

- (a) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいる。
- (b) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理

| | |
|--|--|
| <p>念や基本方針等に盛り込んでいるが、十分ではない。</p> <p>(c) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいない。</p> | |
| 【自己評価】 | 実践例（取り組みや記録等） |
| <input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c) | 年間事業計画立案の際は、児童館ガイドラインや目黒区児童館運営指針に示された児童館理念と目的を全職員で確認し、自館の事業運営に反映しています。児童館ガイドラインの中の目的である、切れ目のない子育て支援も盛り込んで事業運営を実施しています。 |
| 2-1-(2) | |
| 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の施設特性を發揮している。 | |
| 【判断基準】 | |
| (a) | 児童館の施設特性を發揮している。 |
| (b) | 児童館の施設特性を發揮しているが、十分ではない。 |
| (c) | 児童館の施設特性を發揮していない。 |
| 【自己評価】 | 実践例（取り組みや記録等） |
| <input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c) | 区内外の乳幼児親子、0歳から18歳までの利用者が来館しています。目黒区の児童館の中で、唯一子育てふれあいひろばがあり、妊婦や乳幼児とその保護者が安心して楽しく過ごせる居場所として地域の拠点施設になっています。また、地域懇談会や児童館まつりなどの児童館事業を通して、地域の方や各事業団体と交流を深めていて、地域行事へも積極的に協力しています。 |
| 2-1-(3) | |
| 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。 | |
| 【判断基準】 | |
| (a) | 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。 |
| (b) | — |
| (c) | 子どもの権利擁護に関する取組が十分ではない。 |
| 【自己評価】 | 実践例（取り組みや記録等） |
| <input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c) | 子ども会議の中で「目黒区子ども条例」をわかりやすく伝え、子どもの権利があることを伝え、子どもの意見や提案に耳を傾け、実現に向けて支援しています。また、職員は常に人権を守る立場であることを自覚し、子どもと関わる中で、子どもたち一人ひとりの特性を理解し、困ったときや悩んだときに話ができる関係作りを行っています。 |
| 2-1-(4) | |
| 児童館の理念・目的及び施設特性について | |
| 良いと思う点 | 改善が必要だと思う点 |
| 様々な背景を持つ子どもたちが、自らの意思でいつでも安心して利用できる場所であり、様々な遊びや体験を通して、子どもの発達や社会性など心 | 子ども同士で遊びを工夫したり、アイデアを出したりして楽しんでいるが、主体的に企画をする姿は少ないので改善に向けて支援に努めています。 |

| | |
|-----------------------|---|
| 身の成長につなげていけるようにしています。 | 「自分の気持ち」を伝えたり、「相手の気持ち」を受け止めたりする事が苦手な姿がみられるので、児童館での子どもも同士の関わりの積み重ねを大切にしています。 |
|-----------------------|---|

2-2 遊びによる子どもの育成

2-2-(1)

子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っている。

【判断基準】

- (a) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っている。
- (b) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っているが、十分ではない。
- (c) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解していない。

【自己評価】

実践例（取り組みや記録等）

a)、b)、c) 様々な子どもの特性やその対応について、朝会、昼会、職員会議等で児童館、学童保育クラブ、子育てひろばの職員合同で情報を共有し、子どもたちの状況や配慮について確認しながら共通した対応をしています。また、保護者の気持ちに寄り添い、児童館での様子や子どもの成長を伝えながら、子育て相談も行っています。

2-2-(2)

子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしている。

【判断基準】

- (a) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしている。
- (b) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしているが、十分ではない。
- (c) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしていない。

【自己評価】

実践例（取り組みや記録等）

a)、b)、c) 子ども会議で子どもから提案された遊具や玩具、アンケートで希望が出された本の購入などを行い、遊びの幅を広げられるようにしています。プレイルームでは、集まった子どもたちで遊びを決めて遊んでいます。遊びのルールにも子どもたちの発想を取り入れています。図工室では、自由工作の材料を用意し、子どもたちが作りたいものを作れるように、環境作りを行っています。中高生の意見を反映した企画を実施し、中高生事業への参加や参画を進めています。

2-2-(3)

子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助している。

【判断基準】

- | |
|---|
| (a) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助している。 |
| (b) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助しているが、十分ではない。 |
| (c) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるような援助を行っていない。 |

| 【自己評価】 | 実践例（取り組みや記録等） |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c) | 日常的に、上目黒小学校、中目黒小学校、五本木小学校、その他の公立小や、私立・国立小、他区の子どもたちが同年齢・異年齢で遊びを通して交流しています。また、児童館まつりなどの行事では高学年が、積極的に意見を出したり、低学年の意見を取りいれたりしリーダーとしてまとめる姿が見られます。たいこクラブ(クラブ活動)では、中学生や高学年のメンバーがお手本になり、異年齢で教え合う姿があります。 |

2-2-(4)

遊びによる子どもの育成について

| 良いと思う点 | 改善が必要だと思う点 |
|---|--|
| 遊びを通して、新しい経験や発見ができたり、相手の気持ちを知ったり、挑戦したり、協力し合ったりしていく中で、自己肯定感も高められるように、子どもたちの成長の過程を大切にしています。イベントなども実施し、遊びの幅や仲間関係を広げる取り組みも行っています。児童館では、子どもたちが平等で公平に遊びを楽しめるように配慮しています。 | 子どもたちの気になる言動に対し、職員は子どもの気持ちを丁寧に受け止め、言葉かけや対応を工夫し、相手と意見が合わない時も、子どもたちがお互いを認め合い、尊重できる仲間関係を築けるように働きかけていくことを大切にしています。多様な子どもたちに対し、職員間でアセスメントを共有して共通の対応を図るとともに、研修への参加などを通じてスキルの向上に努めます。 |

2-3 児童館の安全管理

2-3-(1)

緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。

| 【判断基準】 | |
|--|--|
| (a) 利用者の安全確保のために、体制が整備され機能している。 | |
| (b) 利用者の安全確保のために、体制が整備されているが、十分に機能していない。 | |
| (c) 利用者の安全確保のために、体制が整備されていない。 | |

| 【自己評価】 | 実践例（取り組みや記録等） |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c) | 事業計画に基づき、地震・火災・水害・防犯不審者対応など様々な想定をした訓練を、時には地域の警察署や消防署の指導を仰ぎ、利用者と共に毎月実施し、安全確保に努めています。また、「災害伝言ダイヤル」や「安心でんしょばと」のシステムを使用し、登録の促進と配信練習に努め、緊急時に利用者の保護者へ迅速に正確な情報を配信できるようにしています。 |

2-3-(2)

利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。

【判断基準】

- (a) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集し、要員分析と対応策の検討を行い実行している。
- (b) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集しているが、要員分析と対応策の検討が十分でない。
- (c) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集していない。

| 【自己評価】 | 実践例（取り組みや記録等） |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c) | <p>開館前と閉館時の清掃や消毒、遊具や玩具の点検整理を毎日行っています。日々の中で、施設設備や遊具や玩具に破損や不具合、危険箇所を見つけた場合はすぐに対策したり、施設点検の要望に出したりして、対応を行っています。地震・台風・大雪など自然災害発生時には、当日と翌日に必ず施設点検を行い、破損や危険箇所の有無を確認し、報告しています。また、オンラインでの危機管理研修に全職員が参加し、食物アレルギーの対応や定期的に救命救急講習を受けており、いざという時の対応ができる職場づくりをしています。</p> <p>開館時に児童館隣接の児童遊園内の見守りを行い、必要に応じて管轄の所轄へ連絡し安全管理に努めています。</p> |